

# 88年を勝利の年に！ 第一回支部代表者会議開催

日刊  
**動労千葉**

1988.1.14  
No. 2738

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

一月十一日、第一回支部代表者会議が開催された。会議では、「四・一分割・民営化」を勝利のうちに乗り越えたわが動労千葉が、今こそ反撃に打って一丸となり、一九八八年を勝利の年にしよう、と固い決意を誓った。

### 一〇三月が勝負！

会議は、水野副委員長の司会で開催され、まず始めに中野委員長より「本部は六日に執行委員会を開催し、八八年の重要性を確認した」「一月から三月までが勝負だ、全支部、全組合員あげて奮闘しよう」とあいさつがなされ、次いで布施書記長より、八八年の闘いに向けた決意満ちる基調報告がなされた。書記長は、

- 一、一九八七年は歴史に残る年であった。円高、株価の大暴落など支配体制の危機はますます深まっている。軍事費の激増、大増税と今、明らかに「戦争への道」をつき進もうとしている。
- 二、新たな産業報国会運動として開始された全労連は大きな矛盾をかかえている。
- 三、国鉄問題は、「分割・民営化」で何一つ解決しないばかりか、労働運動破壊に失敗し、鉄道労連・革マルは完全に追いつめられている。組織率七五％など絶対不可能だ。

敵を見据え「六三・三ダイ改」  
粉碎、三・二七三里塚へ！

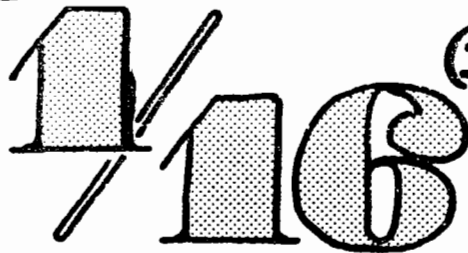
- 四、二波のストライキを打ち抜き、国鉄労働運動解体攻撃粉碎の原動力となった動労千葉・総連合・国労共闘Ⅱ三里塚勢力は、最大の排除対象であり、われわれは、いささかの曖昧さもなくこれを見据えなければならない。
  - 五、当面する一〇三月の闘いが、決定的に重要である。
  - 第一に、あらゆる意味での「七五〇名組織と三〇名争議団」の確立、
  - 第二に、「六三・三」に対する反合・運転保安確立の闘いの高揚と勝利、
  - 第三に、「三・二七三里塚」への最大限決起、
  - 第四に、動労千葉・総連合の組織拡大、
  - を獲得目標に、全組合員の決起をかつとることとする。
- と明確な方針が打ち出された。
- 書記長の提起を受けて討論に入り、各支部からは、
- 「地震発生時に指令は非常停止手配をしなかった。今後当局の運転保安無視の情報を集中し、当局と対決しよう」

「青年部長会議などさまざまな行動を予定している。青年部は、先頭で闘う」

「事業部は財政基盤の確立に向けあらゆる困難にも立ち向かっていく」と固い決意が表明された。

### 組織財政基盤確立の闘いの全面的強化を

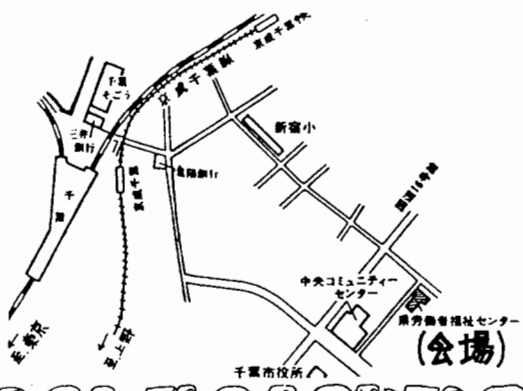
最後に、組織財政基盤確立の闘いの全面的強化、分割・民営化体制粉碎のために、他労組との共闘を追求すること、支部の中軸を担うようになった青年層の組合員への指導、教育を強めることをあわせて提起された方針を満場一致確認し、委員長の音頭で、団結ガンバローを三唱し、大成功のうちに終了した。



## （土）動労千葉 団結旗びらき

### 家族こぞって参加しよう

13時ヨリ  
労働者福祉センター



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！